

令和6年度 江戸川区立葛西中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	「豊かな心」 ・自ら進んで学ぼう ・責任を果たそう ・健康な生活を送ろう	目指す学校像 ・保護者にとって、子どもをかわせてよかったと思える学校 目指す生徒像 ・「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」をバランスよく備えた生徒 目指す教師像 ・人権尊重の精神に富み、自身の職務に専念し、生徒・保護者から信頼される教師
前年度までの本校の現状	成果 ＜成果＞・各行事においては、すべての行事を実施することができた。 ・各教科で学習タブレット端末を活用した授業が多くなり、お互いの意見や考えを共有しあう授業を実践した。	課題 ＜課題＞ ・どの学年も不登校生徒の人数が非常に多くなっている。不登校対策シートを活用し、学校の求心力を高め不登校の生徒数を減少させる ・教員によりICT機器・設備の活用には差がある。授業だけでなく、校務にも積極的に活用し、働き方改革につなげていく。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	・授業改善の推進 ・学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得	・校内研修（都教委訪問等）等において、全教員が一回以上研究授業を実施する	・生徒授業評価において分かる授業の設問の肯定的意見を85%以上にする	C	B	B	・都教委訪問に向けて準備を進めている。全教科指導案の作成が完了した	B	全国学力調査で【国語】が良い結果を得たことは良かった。他教科も続いてほしい	B	・都教委訪問では同一テーマで授業を行い全教職員で研修を深めお互いの指導力向上に努めた	A	・ICTやiPadの活用など日頃、様々な工夫を凝らして授業をしていることがわかった	・英語科に違い、各教科における小中連携をさらに強化する
	・ICT機器、設備の活用 ・FCRを生かした授業の増加と有効的な活用	・生徒、教員iPadを積極的に活用する ・FCRを利用した授業を取り入れ、有効的に活用する	・各単元で一回以上ICT機器を用いた授業を展開する ・全生徒が1回以上FCRで授業を受ける	B	B	C	・iPadは多くの教科・授業で活用している ・中学校は、FCRの利用頻度が少ないので改善したい	B	FCR（フューチャークラスルーム）はGIGAスクール構想に即して大いに期待できる。より有効的に活用できると良い	B	・数学科秋葉指導教諭がFCRを用いた模範授業を行った。他教科の教員も参観しFCRを活用する道筋を作った。来年度は教員が多くの場面で活用できるようにする	A	・すばらしい環境・設備で、誰もがわかりやすい授業をしていることはとても良い	・効果的な研修を計画する ・FCRを使用した授業を1度は実施する
	・読書科の更なる充実	・読書紹介や調べ学習等の探究的活動を通して、発表する機会を設ける	・読書科、図書館の活用において保護者アンケート肯定的意見70%以上にする	C	C	C	・読書紹介や調べ学習の探究活動の発表は、廊下・教室内掲示が中心である	C	引き続き見守っていく	C	・探究活動と読書活動の関係をつなぎ、1つの系統性を持たせるように読書科を位置付けたい	C	・作成した展示物が廊下、教室に展示してあっても見ることができないのが残念	・学校公開に向けて、各学年の掲示物・展示を充実させる
体力の向上	運動意欲や基礎体力の向上	・年間の体育の授業において5分の補強運動と3分のランニングを実施する ・夏季水泳教室を実施する	・生徒授業評価アンケートで「体力がついた」と考える生徒を85%以上にする 参加登録をした生徒90%の出席率	B	A	B	・保健体育の補強運動は、計画通り実施している ・4日間の夏季水泳教室に延べ194名が参加（1回平均48名）	B	水泳の授業について、熱中症予防のため、気温が高いときには中止になると聞いて、水泳の授業が実施しにくい環境には、学校が抱える悩みを感じる	A	・今年度の体力調査の結果は昨年度と比較すると、一段と大きく伸び、良い結果として表れた ・補強運動やダンスなど準備からコツコツと取り組んだことが結果として表れた	A	・部活動が活発なことが良い ・夏は水泳、その他柔道、ダンスなど様々な取り組みをされていて、それが体力向上につながっていると感じる	・保健体育科のダンスの取り組みに対して、発表会を計画する
	運動会を通じた運動意欲や基礎体力の向上②	・運動会に前向きに取り組む態度を育成する ・学級、学年の一層の団結を図る	・事後アンケート、感想文から、学年だよりで多くの生徒の作文を紹介する	A	A	A	・運動会実行委員を中心に、各学年、各学級一斉懸念取り組みだすばらしい運動会となった	A	はつらつとした動きで中学生らしいとても良い運動会であった	A	・運動会の保護者の感想として生徒のすばらしい競技・演技が見れてよかったとの声が多数であった	A	・運動会はすばらしい盛り上がりだった。生徒の生き生きとした姿が見られた	・来年度は保護者がさらに見学しやすい環境を整える
共生社会の実現に向けた教育の推進	・エンカレッジルーム、不登校別室支援教室の活用促進	・特別支援コーディネーター、不登校支援担当が特別支援専門員、心理士、SCとの連携を強化し教育相談委員会を通してエンカレッジルームの活用を促進する	・エンカレッジルームや別室支援教室の利用が重複しないよう計画表を提示し教職員で共有する	B	B	B	・教育相談委員会は定期的に関係情報交換ができています	B	引き続き見守っていく	B	・特別支援教育コーディネーターや特別支援教室専門員を中心に、エンカレッジルーム活用に滞りなく運営できた	B	・特別支援教育など多種多様な教育が増える一方で、どのような教育がすすめられているかが見えてこない現状がある	・学校評議員会で、特別支援教育の仕組みや内容を説明する
不登校・充実に いじめ対応の	・不登校対策の実施・充実 ・教育相談体制の強化	・別室支援教室登校、学校サポート教室等の外部機関への通室など普通教室以外への登校をSC、SSW等外部機関と速やかに連携し円滑に進める	・不登校対策シートを用い不登校非出現率を下げる ・SSWや児相などの制度や内容をまとめ、教職員に伝える	B	C	B	・別室支援職員も増え、別室に通う生徒にとって機能している ・今後はより効果的な活用、運用を目指していく	B	長期休みが2学期以降の不登校につながるため、長期休業中に登校日を設けることは良いことと感じた	C	・別室支援員の増加により、年間を通して安定した教室運営ができた ・不登校生徒の出現率を抑えることが急務である	C	・不登校の問題は保護者の影響によるものがある ・民生児童委員として、いろいろな学校の取り組みがあり、学校により温度差がある	・前年度だけでなく、不登校生徒の推移をグラフなどを用いて表す
	・hupaer-QUの活用 ・いじめ根絶宣言の実施	・hupaer-QUを年2回実施する。よりよい学級づくりのための研修を実施し、学級の改善を図る ・いじめ根絶宣言を各学級実施する	・2回目のhupaer-QUにおいて、改善傾向の示す学級80%以上にする ・各学級定めた目標を教室に掲示する。	C	B	B	・QUテストの1回目は5月に実施 ・いじめ根絶宣言は各クラス、教室に掲示できている	B	引き続き見守っていく	B	・計画通り研修会を実施し、各学年で各学級結果を分析・共有し普段の生活や指導に活用した	A	・細かい問題はあるだろうが、おおむね良好であると感じる	・引き続きいじめ根絶宣言に取り組み、各クラスのいじめ根絶宣言を紹介する
学校（園）の 開かれた 地域の 実現	自校の取組の積極的な発信 ・学校ホームページの充実、tetoruの活用 ・学校公開の実施、充実	・学校日記を通して学校の情報を積極的にホームページで発信し、随時更新する ・年4回の土曜日の学校公開、各行事で多くの保護者に参観してもらう	・保護者アンケートにおいて、開かれた学校の項目の肯定的な意見、85%以上を目指す	C	A	C	・行事や生徒、教職員の活動などを中心に情報発信している。 ・2学期は行事が多いので、1週間に1度HPの更新を目指す	B	特に閉鎖的とは感じていない 引き続き、情報発信をお願いしたい	A	・保護者アンケートにおいて、開かれた学校づくりに取り組んでいるかの質問項目の肯定的な意見は95%だった。HPの更新頻度や学校公開での受入対応で、保護者から高評価を得たと感じている	A	・数値目標を設定して、目標を上回る結果が出ていることはすばらしいことである ・引き続き情報発信をお願いしたい	・引き続き、週1回のHP学校日記の更新を目指す
	学校関係者評価の充実 ・教育活動の改善、充実に に向けた学校関係者評価の実施	・年3回の学校評議員会において学校関係者評価の内容の検討、改善を図る	・学校関係者評価の内容に関して、肯定的意見85%以上	C	B	B	・引き続き、学校評議員の方の指導を仰ぎ、学校運営に活かしていく	B	学校評議員会では活発に意見が出ており、改善に取り組みされているのが良い	B	・3回目の評議員会はFCRで行った。開かれた学校を達成すべく、引き続き邁進していく	A	・すばらしい設備を今後も活用し、開かれた学校として地域に根ざした学校でいてほしい	・防災体験会や学校公開に招待し、葛西小中を見てもらおう
教育の 特色ある 展開	小中連携教育の更なる推進	・小中連携した授業改善 ・小学生、中学生が仲良くともにのびのびと成長できる場を設定する	・小中連携アンケートにおいて、肯定的な意見80%以上にする	C	B	C	・小学校体育大会に向けての練習や吹奏楽部の発表で小中連携を行った	B	併設校の良さを活かして、小学校との連携を多くもってもらいたい	B	・小中合同朝礼を予定通り3回実施できた。今後も無理なく、かつ効果的に企画し実施する	A	・小中併設校の良さが存分に出ている。地域の良いランドマークになりつつある	・小中連携については、できることを無理なく実行する
	防災教育の充実 ・災害発生時の対応、避難時の共助の心の育成	・夏休みに区や消防署、PTAと連携した防災体験会を実施する ・中学生が主体的に活動する場面を設定する	・事後アンケート、感想文から、学年だよりで多くの生徒の作文を紹介する	C	A	B	・防災体験会は9/21に実施 ・中学生への事前指導や区危機管理部との打ち合わせは予定通り行った	A	毎年開催され、有意義なものになっている 小学校低学年も参加できると良い	A	・防災体験会は参加した中学生が大いに活躍できた場となり、地域に中学生の力をアピールできた	A	・先日の町会防災訓練も大盛況だった ・防災教育は積極的に取り組んでいる印象である	・今後も防災に対して意識を高めていく
	・「読み語り部」による地域貢献 ・図書館活用の更なる充実	・近隣施設を訪問して、読み聞かせ活動を実施する ・LASと連携し、図書館ボランティア活動を実施する	・近隣図書館、保育園等3カ所以上訪問する ・参加アンケート肯定的意見90%以上にする	B	B	B	・図書館ボランティアは7月に1回目を実施、10名の生徒が参加した ・感想は全員肯定的だった	A	良い活動は引き続き継続してもらいたい	B	・図書館ボランティアは3回実施し毎回しっかりと取り組んだ ・読み語り部による近隣施設への読み聞かせ活動も喜ばれた	B	・読み語り部などもっと外に情報発信していけばよい	・早めに計画し、案内を出すことでボランティア参加生徒を増やす